

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 28年 3月 14日

計画の名称	12 安全と安心を実感できるまちづくり									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度 (4年間)			交付対象	清水町					
計画の目標	道路の交通安全施設の整備を推進するとともに、既存の道路施設の機能の向上を行い、交通事故の削減を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業路線の死傷事故件数の10%削減 ・町内死傷事故件数における事業路線事故割合の5%削減 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H21)	中間目標値	最終目標値 (H25)				
① 事業路線の死傷事故件数				101件		90件				
② 町内事故に占める事故発生割合を算出する (町内事故割合) = (事業路線の死傷事故件数) / (全体の事故件数)				24%		20%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	852百万円	A	844百万円	B	0百万円	C	8百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.9%

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価委員会を設置し事後評価を実施した 学識経験者1人 町職員5人 合計6人	第1回委員会平成28年2月8日（月） 第2回委員会平成28年3月14日（月）
	公表の方法
	町ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
1-A1	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	改築	(一) 3号線 第7工区	道路拡幅 L=0.2km	清水町						724	完了
1-A2	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	修繕	(一) 1号線	舗装補修 L=0.5km	清水町						40	完了
1-A3	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	交通	(他) 370号線	歩道整備 L=0.4km	清水町						40	完了
1-A4	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	交通	(他) 351号線	歩道整備 L=0.4km	清水町						40	未施工
											小計（道路事業）			844			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24	H25			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
1-C1	計画・調査	一般	清水町	直接	—	調査	交通実態調査	1号線外19路線の交通実態調査	清水町						4	完了
1-C2	計画策定	一般	清水町	直接	—	計画策定	橋梁長寿命化修繕計画	1,2級町道にかかる13橋	清水町						3.8	完了
										合計					8	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C1	当計画の効果の把握及び今後の交通安全計画を策定することを目的として、事業路線及び町内幹線道路の事故分析、交通量等の実態調査を行う。														
1-C2	橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的に橋梁の修繕工事を行うことにより、道路橋等の安全性及び信頼性を確保する。														
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 3号線の現道拡幅等を行った結果、交差点部分などの見通しが良くなり、交通事故の発生件数の減少に寄与した。 												
II 定量的指標の達成状況				指標①(事業路線の死傷事故件数の10%削減)		90件		<ul style="list-style-type: none"> 街頭啓発やその他町単独事業等を進めるなど、町を上げて交通事故削減に努めた結果、事業路線における交通事故の削減に効果があったため。 街頭啓発やその他町単独事業等を進めるなど、町を上げて交通事故削減に努めた結果、事業路線における交通事故の削減に効果があったため。 								
						64件										
				指標②(町内死傷事故件数における事業路線事故割合の5%削減)		20%										
						16%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)				<ul style="list-style-type: none"> 370号線の区画線設置や歩道整備により、買い物客や住民等の卸団地内の移動の快適性が向上した。 370号線の道路整備により、自転車公道レースの開催や福祉ふれあい広場などのイベントがこれまで以上に活発に行われ、町の活性化に寄与した。 橋梁長寿命化修繕計画を行った結果、従来の事後保全型から予防保全型へ転換が図られ、今後の橋梁維持管理費の縮減が期待できる。 												

3. 特記事項(今後の方針等)															
<ul style="list-style-type: none"> 3号線第7工区の道路整備事業は、交通事故削減に効果が現れていることから、3号線の道路拡幅を継続して進め、交通事故の更なる削減を図る。 3号線ほか各種道路整備事業は、交通事故削減に効果が現れていることから、町の南部においても交通事故削減を図るため、5号線の現道拡幅を進める。 橋梁長寿命化計画の策定から、予防保全型の整備がコスト削減に繋がることが期待できるため、本計画に基づく対策工事を計画的に進め、今後の橋梁維持管理費の縮減を図る。 今後も交付金を活用して財源を確保しつつ、事業を進めていく。 															

(参考様式3)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

